

平成28年度 第4回笠間市行政改革推進委員会 議事録

1. 日 時 平成29年2月22日（水） 午後3時00分から4時00分まで
2. 場 所 笠間市役所 行政・議会2階 庁議室
3. 出席者 委員8名  
林 孝, 飯田 正憲, 千葉 実, 水上 浩, 安達 武雄, 南雲 京子,  
橋本 亮, 吉田 勉  
事務局6名  
藤枝市長公室長, 清水行政経営課長, 鶴田課長補佐, 郡司主査  
佐藤係長, 橋本係長
4. 傍聴者 なし
5. 内 容 (1) 第3次笠間市行財政改革大綱（案）について  
(2) 笠間市諮問第4号に対する答申について

○事務局

定刻となりましたので、ただいまから第4回笠間市行政改革推進委員会を開催させていただきます。

本日の委員会は、笠間市情報公開条例第22条の規定により、会議を公開にて開催いたします。

本日の会議は音声認識による録音を行っておりますので、発言をされる際はマイクを使用してご発言のほどよろしく願いいたします。

本日、中野委員、青柳委員が所用のため欠席となっております。

また、千葉委員、水上委員から遅れるとの連絡をいただいております。

それでは、委員会設置条例第6条により、これ以降の議事進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○会長

それでは議事進行させていただきます。

本日の議題は、次第のとおり、第3次笠間市行財政改革大綱（案）についてと、同じく諮問、答申についてとなっております。

本日は、前回11月の第3回の議論を踏まえて、修正された大綱案が、事前に配布されています。

それについて議論いただいて、概ね了承いただければ、本日の最後に山口市長に答申したいと思っております。

そのような状況ですので、ご議論が必ずしも出来ないというわけでありませんので、意見をいただいて、修正できる範囲で対応していただきたいと思います。

それでは、行革大綱（案）について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

資料 No 1～4 により説明。

（資料 No 5 は当日追加配布）

○会長

ありがとうございました。

それでは、前回からの修正点を中心に事務局から説明いただきましたが、これに関して、最終的な答申に向けて、ご意見等がございましたら、質問も含めて、よろしくお願  
いいたします。

○会長

重要なところから。

今回、初めてキャッチフレーズが出ました。

改めて趣旨の説明をお願いします。

○事務局

10 ページの 1 番上でございます。

人口減少、少子高齢化の進行、市民ニーズの多様化など社会情勢が急速に変化する中、  
厳しい財政状況下にあっても、次世代に負担を先送りすることなく、将来にわたって、  
質の高い行政サービスを効果的、効率的に提供することを目指して、今回の大綱の基本  
理念を～次世代へつなぐ 改革の推進～としております。

○会長

非常にわかりやすいと思いますが、よろしいですか。

表紙にもキャッチフレーズとして出てきますので、重要なことだと思えますが、特に  
問題なければ、これでお願ひしたいと思えます。

○委員

大綱ですが、ある程度、キチッと修正されて、良くなっていると思えますが、私は、  
将来的な不安を感じます。

これは、いつまで続けるのですか。

○事務局

この大綱の設定期間は平成 33 年度まで 5 年間です。

もちろん、行政運営は続きますので、改革は続いていくと思えますが、この計画期間  
は 5 年間でございます。

○委員

1 番心配なのはこういうものを、どんどんやっていくと、底が尽きてしまうと不安に  
思いました。

いろんな部分での縮小などは分かりますが、これがどんどん突き詰められていくと、  
もう、やるものがなくなってしまうのではないかと心配です。

そうすると、最終的には、どういう形になってしまうのか、という部分です。

#### ○事務局

最後にあるのは、多分、行政として1番望ましい姿が、そこに残ると思います。

これまで説明してきたように、人口が少なくなってくる問題や、それにも増して財政状況も悪くなること、かといって、逆に社会情勢や経済情勢の変化によって、市民ニーズは、増えていきます。

そのために、どうしたらいいかと考えたものが、今回の大綱案です。

まず、重要な部分は、我々、職員の人材育成です。

職員を増やすわけにはいかないの、それをどうやって補っていくかという、職員の質を高めていくしかない、というところが1番のところでは。

あわせて、もっと窓口での業務などで改善できるものはないか。

人だけを減らす訳にはいかないの、そういうところで改善して、詰めていくことができないのか、という諸々を盛り込んだのが今回の大綱になっていると、私共は考えております。

#### ○委員

分かりました。

#### ○会長

基本的には、節減や削減一辺倒で、余力もなくなって、やるものがなくなってしまう、そういう意味でよろしいですか。

確かに、1番目、効率的な行政運営となっているので、効率化だけを狙うようになっていますけど、中を見ると、効率的で活力のあるということで、クラウドシステムなど、マイナス、削減だけではないようなことも書いてありますので、そのような趣旨でいかがでしょうか。

#### ○委員

20ページの参考資料です。

歳出の人件費に、外部委託の人件費は含みますか。

#### ○事務局

外部委託の人件費は、ここには含みません。

人件費は、職員等の人件費だけです。

#### ○委員

例えば、幼稚園などの委託が計画されていますが、外部委託の人件費は、歳出に含まないということですか。

#### ○事務局

正直申し上げまして、これから幼稚園、保育所などの民間委託だと思いますが、その部分の費用は、委託料としては、ここには入っておりません。

今の運営費の中で生み出していきますので、それと取り換えになるイメージをしてい

ただければと思います。

今の形の財政計画でございますので、保育所を民間に委託したという個々の事案については、盛り込んだものではございません。

#### ○委員

単純に考えると、委託されると人件費は下がると思います。

ですから、人件費が、あまり変動していないので、民間委託の人件費はどこに計上されているのかとお聞きしました。

#### ○事務局

個々の計画について、全て盛り込んでございませんので、職員も大幅に減らした人件費の積み上げにはなってございません。

ただ、委員がおっしゃられるように、ある部分が民間委託になるとすれば、人件費が物件費などに移ったりする意味合いはあると思います。

#### ○会長

簡単に言うと、人件費の部分は、今、現状の制度を前提に積み上げた。

重要項目に外部委託の推進等が書いてありますが、それが人件費から物件費に振り変わるという整理でよろしいですか。

そういう整理で、この表はご理解いただければと思います。

修正されることもあると思いますが、今、現時点で平成 33 年度までで見込んだらということで、必ずしも、今後、取り組むべきものが、物件費の比重が増えるという、整理はしてないということです。

ですから、現状と少し齟齬が出てくるかもしれません。

よろしいですか。

#### ○会長

全体の話ですが、第 5 の施策体系の説明をどこかに入れてありましたか。

例えば、17 ページ以降の施策体系の定義です。

平成 29 年度から 33 年度まで重点的に取り組むものであり云々、あるいは実施計画で目標数値など定めるものでありなど、そういう説明はありませんか。

いきなり唐突に出てくるので、これは何だろうって読んだ人がわかりますか。

あとで、直していただけるか検討してください。

#### ○事務局

わかりました。

体系の下の行に出来れば、そういう説明を加えていきたいと思います。

申し訳ありませんでした。

#### ○会長

あと、新規と重点とありますが、これも定義が必要かと思います。

整理の仕方です、細かい話ですが、17 ページです。

重点で、新しく「働き方改革の推進」が出てきていますが、非常にいいと思います。これは本文と一致しています。

しかし、必ずしも、本文と一致しないで出てきているのも、幾つか散見されます。

例えば、18 ページに歳出の適正化とあり、財政状況の公表というのは、当たり前で、今までもやっていましたが、なぜ、これが新規なのかです。

あるいは、19 ページ、例えば、3の市民協働の推進の(1)の1の②「産官学連携の推進」が、新規であります。この説明が本文の中には、まったく出てこないというのが、幾つかあるので、概ね内容とは一致していると思いますが、修正が必要かと思えます。

最終案までに、連携をつけてもらえればと思います。

## ○委員

これが最後の委員会になると思いますので、要望的なことを少し申し上げます。

本当にこの1年間の事務局の皆さんお疲れさまでした。

庁内をまとめていただいて、我々の、この委員会の中で出た内容をフォローして、まとめていただいたことに感謝申し上げます。

結局、これをまとめたその後のことが1番大事なわけです。

私は以前、欠席したときにも、メモで申し上げましたが、一つは実施する中で、PDCAサイクルをきっちりやって、できれば会計士など、第三者の目に触れるようなことも検討していただき、なおかつ、これを外部に見せていく。

こういうことを、しっかりやっていただいて、外部の目に触れるような形でPDCAサイクルを回してほしいということが一つ。

もう一つは、不断の研究をしてほしいと思います。

これは、最近、県庁でも新しい第7次の行革大綱をまとめたと新聞記事が出ていましたし、近隣の市町村でも、こういった行政改革に関する、いろいろな懇談会を立ち上げて、方針をまとめているので、こういったところの情報をしっかり入れて、それから国の情報もしっかり入れて、追加すべきこと、それから、削除すべきことを、常に研究した上で、新しいことを、どんどん、どんどん取り入れてもらって、不断に笠間市の行政が素晴らしくなっていくように、やっていただければと思います。

いずれにしろ、施策との体系も必要になってくる部分もありますので、是非、そこは研究をなさっていただければと思います。

私はそういうことを期待しております。

よろしく申し上げます。

## ○会長

重要な意見ですが、答申書を見ていただきたいのですが、資料5です。

今、言われたことは、直接は書いていませんが、例えば、着実なPDCAサイクルの導入や取り組み、行政運営や行政改革に関する不断の徹底的な研究について、今、ご指

摘いただきましたが、意見の中に入れられますか。

入れられませんか、入れなければ、口頭で話しますか。

○事務局

委員会で決定していただければ、入れていくことは、可能でございます。

○会長

これから答申をしますが、口頭で、幾つか意見として言うべきでしょうか。

言っておくべきでしょうか。

今のようなご意見がありましたけど。

○事務局

入れていただいて、大丈夫だと思います。

○会長

そのほかに、大局的な、答申に当たってのご意見がありましたらお願いします。

○会長

昨年から今年にかけて、笠間市はホームページが、物凄く充実していて、市長や各部長が演劇みたいなものを作って、市民に情報提供しています。

これは、全く入っていませんが、書いておいたらいいと思います。

赤穂浪士など、いろんなことをやっています。

○会長

最後に、各委員からも一言ずつ意見をいただきたいと思います。

○委員

遅れてきて申し訳ございませんでした。

あらかじめ資料が送られて来て、先ほどありましたように、大変一所懸命に考えていただいたと思います。

やはり、実施をしていく上では、その時々になんか変化があり、そのことも取り組みながら、柔軟にしっかりと進めていっていただきたいです。

今回の大綱の今までとの違いは、本当に、人口減少、どんどん世代が高齢化して、しかも、少子高齢化の影響が非常に顕著に出てまいりますので、そういう意味で、それらを踏まえた行革というのは、本当に大事な行革になると思います。

予測できなかったようなことも含めて、柔軟な形で臨んで、行財政改革を進めて、市民の方々が、生き生きと生活できる、安心できるという行革を進めていただければと思います。

先ほど会長からありましたように、笠間市は非常に先進的な取り組みをやっております。

今日、私が遅れたのは、駅前交流センターの運営協議会をやってきたためです。

あれも、スマートシティのベースになるようなものをつくれ、新たな市民の交流の場、活動の場をつくったと、非常に評価されるものだと思います。

うまくコマーシャルに載せて、皆さんに分かっていただくことが大事だと思います。  
頑張っ、やっていただきたいと思っています。  
以上です。

#### ○委員

感想ですが、これから施策を実施、実践をするなかで、やはり、その担い手と言いま  
すか、市の職員さんが、要になるのではないかと、ある意味思います。

公務員人気は、多分あると思いますが、それでも職種によっては、例えば、警察官さ  
んなどは、なかなか募集に陰りが見えてきたような話も、ちらっと聞いたこともありま  
す。

そうは言っても優秀な人材が、数多く確保されるところでしょうが、その方々が生き  
がいを持って、働ける職場づくりというところが、本当に、我々、民間でも非常に重要  
視されています。

A Iと言われているロボットが窓口で受付をするようなお店も、実は、私共にもあり  
ます。

けれども、ロボットが対応できるものと、そうじゃないものと、あるはずなので、人  
が担っていくものを高度化していくというところが必要となってきた、そういった高度  
化される業務に対応できる人材の確保という観点からしますと、やはり、ここでも挙げ  
られていますが、働き方改革によって、働きやすい職場づくりをしていくということと、  
それから優秀、能力のある人材を数多く確保していくということと、それから多くの人  
の人材育成です。

教育や育成を大切にしていけないと、あるいは、絵に描いた餅ではないが、そこに魂  
が入ってこないと思います。

私も 51 名の職員を預かっていますが、その人たちにどうやって、成果、能力を發揮  
させていくかと、いつも苦心しております。

ここが、本当に1 番大変なところであります。

それは、民間であっても、行政であっても変わらないところだと思います。

率直な感想述べさせていただきましたが、こういった機会をいただきまして、本当に  
ありがとうございました。

#### ○委員

一つ質問させてください。

既に説明していただいたのかも知れませんが、笠間市総合戦略では、人口減少の抑制  
と、笠間らしさの確立を、基本的な考えと 6 ページに書かれてありますが、「笠間らし  
さ」は、どんなふうに理解したらよろしいでしょうか。

#### ○吉田会長

何か使われているのですか。

「笠間らしさ」という言葉は。

## ○事務局

笠間市は、旧笠間市の時代から、「笠間らしさ」と言うものを使っています。

では、何が「笠間らしさ」となると、これと、これと、これだというのは、具体的には、ご説明しづらいです。

笠間焼に象徴される芸術や文化、培ってきた歴史や、そこで培われた芸術、文化も、ほかと違うという意味で、「笠間らしさ」という表現をさせていただきます。

## ○会長

伝統と何とかが共生する笠間らしさなどを、入れたほうが良いということですか。

それとも、これで想像できるのではないかとということですか。

## ○委員

私自身、笠間焼や、あるいは、笠間の特産品、そういったもののことを言われているのかと思います。自然などです。

そういうことを言われていると、想像しました。

もし、そういうことであれば、職員の皆さんが、口を揃えて出てくるぐらいの同じ認識を持たれたら、この施策はうまくいくのではないかと思います。

多くの市が、人口減少など、全国的に同じ悩みであり、そのための施策として、同じようなことを考えているのではないかと思いますので、そこを明確にされて、力を入れていただいたら、よろしいと思った次第です。

市民からすると、やはり、先が不安だと色々なところに書かれているのを見ますが、毎日の生活、段々に高齢化ということで歳を重ねていくと、やはり、健康づくりなど、もっともっと市が全面的にサポートしているということを、さらに、今後も進めていただけると、結局、人間、楽しい日々が過ごせるというのが、大事なのではないかと思います。

そういう意味では、折角、つくられた計画を、副会長がおっしゃられたように、PDCAサイクルで、チェック、フォローをされることが、とても大事だと思います。

まず、多くの市が同じようなこと考えているだけに、笠間市が有名になると言いますか、一つ、新しい、ほかが発想しないようなことを発想していただけるような職員さんの教育が必要だと思います。

私自身の問題でも、会社の問題であり、同じ問題として捉えているだけに、そう思います。

以上です。

## ○会長

人材が大事なところを、両委員も申し上げられたと思います。

ありがとうございました。

## ○委員

取りまとめ、大変だと思います。ご苦労さまでした。

合併して、もう10年なのか、まだ10年なのかということ。

これから、どんどん良くなって、良くしていかななくてはならないと思いますが、折角、三つの市と町が集まって笠間市になったので、もっともっと、どんどん良い笠間市になっていけばいいと思っています。

そのために、こういう改革が進むことが、その一助になるとと思いますので、着実に進めていくことを期待しております。

市民の方々が、こういうことを気にされることも、当然、必要ですが、逆に、気にせず、のほほんと、居られることも幸せかと思います。

どちらがいいのかは、なかなか難しいところですが、最終的に、全ては、市民の皆さんが、どのような生活を送れるか、笠間市に居て良かったと思えることが、重要だと思いますので、そういうことを最終的な目標として、これからも頑張ってもらえればと思います。

私も市民の一員として、笠間市が良いところになるように、これからも自分なりに努力をしようと思いますので、よろしく願いいたします。

#### ○会長

その他ご意見等ございますか。

よろしいですか。

そろそろ、まとめに入った方が良いですか。

よろしいですか。

#### ○会長

それでは、お手元の答申案、それから大綱の、今のご議論ですが、先ほど、私が話した部分で、少し修正していただきたいところがあります。

大まかな方向性、三つの柱とキャッチフレーズ等などは、ご了解いただいたということなので、個別の文言等、あるいは、施策の表現の仕方は、私に任せたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それを前提で、大綱案をご承認いただくということでよろしいでしょうか。

#### ○委員各位

はい。

#### ○会長

お手元の資料5答申案につきましては、山口市長に提出したいと思いますが、基本的には、了解したということ。

あわせて、意見として、その三つの基本方針と、それから職員一丸となって云々と、適切に取り組みられることを期待します、ということ。

幾つかの委員からもありましたように、市民に十分な公表、現状の的確な課題と、改革案の立案により、進捗管理に努めてくださいという要請です。

大まかに副会長がおっしゃられた、着実なPDCAの実行、不断の十分な研究等をし

ていただきたいという要請を、あわせてお話しするような形で、答申をしたいと思いますが、これについてはいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

**○委員各位**

はい。

**【議事終了】**

**【吉田会長より山口市長に答申】**

**【事務局より連絡】**

・今後のスケジュール

本委員会の意見，答申を受け，最終案を作成し，議会への説明後，市のホームページにおいて公表予定。

・今年度の委員会は本日が最終であり，今年3月31日をもって委員の任期満了